

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
32022	X-21-B-1-320228						
授業科目	担当教員						
中国語 1 bA	寺沢 一俊	1	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科 【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース 【2年次生以上】国際学部国際文化学科 【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1年次生】経営情報学部経営学科 【1年次生】経営情報学部情報システム学科 【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース 【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門 専門 専門 専門 × × × ×	選択必修 選択必修 選択 選択 × × × ×	1年 1年 1年 1年 × × × ×

授業目的

中国は近年めざましい経済発展を遂げ、世界の国々にさまざまな面で大きな影響力を持つようになった。隣国である日本においても中国語による正確かつ即応性のあるコミュニケーション能力がますます必要となっている。中国語のコミュニケーション能力は「聞く・話す・読む・書く」に大別できるが、それぞれが密接な関係をもっている。ここでは、このコミュニケーション能力を支える発音・声調の基礎を身に付け、テキスト課文を正しく音読できるようにしたい。短文の音読、暗誦、聞き取り練習にできるだけ多くの時間を充當し、中国語学習をするうえで不可欠な基礎的能力を身に付ける。

各回毎の授業内容

第 1 回

【授】声調と母音(1)四声・単母音・複母音

【前・後】【必要な時間：1時間以上】予習より復習が必要。復習の際にはCD録音を聞きながらピンイン符号と声調符号を正確に読めるように繰り返し練習すること。ピンイン符号のアルファベット綴りや声調符号も書いて覚えること。

第 2 回

【授】子音(1)有気音・無気音

【前・後】【必要な時間：1時間以上】予習より復習が必要。復習の際にはCD録音を聞きながらピンイン符号と声調符号を正確に読めるように繰り返し練習すること。ピンイン符号のアルファベット綴りや声調符号も書いて覚えること。

第 3 回

【授】子音(2)そり舌音

【前・後】【必要な時間：1時間以上】予習より復習が必要。復習の際にはCD録音を聞きながらピンイン符号と声調符号を正確に読めるように繰り返し練習すること。ピンイン符号のアルファベット綴りや声調符号も書いて覚えること。

第 4 回

【授】子音(3)その他の子音

【前・後】【必要な時間：1時間以上】予習より復習が必要。復習の際にはCD録音を聞きながらピンイン符号と声調符号を正確に読めるように繰り返し練習すること。ピンイン符号のアルファベット綴りや声調符号も書いて覚えること。

第 5 回

【授】母音(2)前鼻音・後鼻音

【前・後】【必要な時間：1時間以上】予習より復習が必要。復習の際にはCD録音を聞きながらピンイン符号と声調符号を正確に読めるように繰り返し練習すること。ピンイン符号のアルファベット綴りや声調符号も書いて覚えること。

第 6 回

【授】第1課(1)人称代名詞

【前・後】【必要な時間：1時間以上】予習より復習が必要。復習の際にはCD録音を聞きながらテキスト課文の単語を正確に発音できるようにすること。さらにテキスト会話文の音読を繰り返して暗誦すること。暗誦できたらピンイン符号と漢字で書けるようにすること。

第 7 回

【授】第1課(2)“是”構文

【前・後】【必要な時間：1時間以上】予習より復習が必要。復習の際にはCD録音を聞きながらテキスト課文の単語を正確に発音できるようにすること。さらにテキスト会話文の音読を繰り返して暗誦すること。暗誦できたらピンイン符号と漢字で書けるようにすること。

第 8 回

【授】第2課(1)場所代名詞

【前・後】【必要な時間：1時間以上】予習より復習が必要。復習の際にはCD録音を聞きながらテキスト課文の単語を正確に発音できるようにすること。さらにテキスト会話文の音読を繰り返して暗誦すること。暗誦できたらピンイン符号と漢字で書けるようにすること。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							60
小テスト・授業内レポート							10
宿題・授業外レポート							10
授業態度・授業への参加							10
成果発表(口頭・実技)							10
演習							
その他							

成績評価は出席率、小テスト、授業中の積極的な学習態度、期末試験などの結果を総合的に判断する。小テストはチェックをしてから返却し、必要に応じて解説をする。

教科書参考書

教科書：朱繼征著「即問即答中国語 入門編」 朝日出版社 2,300円+税 参考書：講義中に紹介する。

受講に当たっての留意事項

テキストの単語や文は音読して正確な発音で流暢に読めるようにすること。さらに音読を繰り返して暗誦する習慣をつけること。学習した中国語はすべてピンイン符号と漢字で書けるようにすること。

学習到達目標

中国語学習において基本的な能力として要求されるピンイン符号と声調符号を正しく「読み・書き」できる技術を身に付ける。単音節単語から2音節単語、さらに3~4音節からなる文節へと発音訓練を進め、10音節程度の文を流暢に音読でき、さらに暗誦できるようにしたい。あわせて中国語の基礎文法についても、知識だけでなく応用できるようにしたい。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
32022	X-21-B-1-320228						
授業科目	担当教員						
中国語 1 bB	寺沢 一俊	1	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科 【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース 【2年次生以上】国際学部国際文化学科 【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1年次生】経営情報学部経営学科 【1年次生】経営情報学部情報システム学科 【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース 【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門 専門 専門 専門 × × × ×	選択必修 選択 選択必修 選択 × × × ×	1年 1年 1年 1年 × × × ×

授業目的

中国は近年めざましい経済発展を遂げ、世界の国々にさまざまな面で大きな影響力を持つようになった。隣国である日本においても中国語による正確かつ即応性のあるコミュニケーション能力がますます必要となっている。中国語のコミュニケーション能力は「聞く・話す・読む・書く」に大別できるが、それぞれが密接な関係をもっている。ここでは、このコミュニケーション能力を支える発音・声調の基礎を身に付け、テキスト課文を正しく音読できるようにしたい。短文の音読、暗誦、聞き取り練習にできるだけ多くの時間を充當し、中国語学習をするうえで不可欠な基礎的能力を身に付ける。

各回毎の授業内容

第 1 回

【授】声調と母音(1)四声・単母音・複母音

【前・後】【必要な時間：1時間以上】予習より復習が必要。復習の際にはCD録音を聞きながらピンイン符号と声調符号を正確に読めるように繰り返し練習すること。ピンイン符号のアルファベット綴りや声調符号も書いて覚えること。

第 2 回

【授】子音(1)有気音・無気音

【前・後】【必要な時間：1時間以上】予習より復習が必要。復習の際にはCD録音を聞きながらピンイン符号と声調符号を正確に読めるように繰り返し練習すること。ピンイン符号のアルファベット綴りや声調符号も書いて覚えること。

第 3 回

【授】子音(2)そり舌音

【前・後】【必要な時間：1時間以上】予習より復習が必要。復習の際にはCD録音を聞きながらピンイン符号と声調符号を正確に読めるように繰り返し練習すること。ピンイン符号のアルファベット綴りや声調符号も書いて覚えること。

第 4 回

【授】子音(3)その他の子音

【前・後】【必要な時間：1時間以上】予習より復習が必要。復習の際にはCD録音を聞きながらピンイン符号と声調符号を正確に読めるように繰り返し練習すること。ピンイン符号のアルファベット綴りや声調符号も書いて覚えること。

第 5 回

【授】母音(2)前鼻音・後鼻音

【前・後】【必要な時間：1時間以上】予習より復習が必要。復習の際にはCD録音を聞きながらピンイン符号と声調符号を正確に読めるように繰り返し練習すること。ピンイン符号のアルファベット綴りや声調符号も書いて覚えること。

第 6 回

【授】第1課(1)人称代名詞

【前・後】【必要な時間：1時間以上】予習より復習が必要。復習の際にはCD録音を聞きながらテキスト課文の単語を正確に発音できるようにすること。さらにテキスト会話文の音読を繰り返して暗誦すること。暗誦できたらピンイン符号と漢字で書けるようにすること。

第 7 回

【授】第1課(2)“是”構文

【前・後】【必要な時間：1時間以上】予習より復習が必要。復習の際にはCD録音を聞きながらテキスト課文の単語を正確に発音できるようにすること。さらにテキスト会話文の音読を繰り返して暗誦すること。暗誦できたらピンイン符号と漢字で書けるようにすること。

第 8 回

【授】第2課(1)場所代名詞

【前・後】【必要な時間：1時間以上】予習より復習が必要。復習の際にはCD録音を聞きながらテキスト課文の単語を正確に発音できるようにすること。さらにテキスト会話文の音読を繰り返して暗誦すること。暗誦できたらピンイン符号と漢字で書けるようにすること。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							60
小テスト・授業内レポート							10
宿題・授業外レポート							10
授業態度・授業への参加							10
成果発表(口頭・実技)							10
演習							
その他							

成績評価は出席率、小テスト、授業中の積極的な学習態度、期末試験などの結果を総合的に判断する。小テストはチェックをしてから返却し、必要に応じて解説をする。

教科書参考書

教科書：朱繼征著「即問即答中国語 入門編」 朝日出版社 2,300円+税 参考書：講義中に紹介する。

受講に当たっての留意事項

テキストの単語や文は音読して正確な発音で流暢に読めるようにすること。さらに音読を繰り返して暗誦する習慣をつけること。学習した中国語はすべてピンイン符号と漢字で書けるようにすること。

学習到達目標

中国語学習において基本的な能力として要求されるピンイン符号と声調符号を正しく「読み・書き」できる技術を身に付ける。単音節単語から2音節単語、さらに3~4音節からなる文節へと発音訓練を進め、10音節程度の文を流暢に音読でき、さらに暗誦できるようにしたい。あわせて中国語の基礎文法についても、知識だけでなく応用できるようにしたい。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習